

みずほCustomer Desk Report 2022/12/08 号 (As of 2022/12/07)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.31 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.89	1.0467	143.21	1.2131	0.6697
SYD-NY High	137.85	1.0550	144.56	1.2231	0.6740
SYD-NY Low	136.23	1.0444	143.21	1.2109	0.6669
NY 5:00 PM	136.57	1.0505	143.48	1.2212	0.6726

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,597.92	1.58	日本2年債	▲0.0100%	0.0100%
NASDAQ	10,958.55	▲ 56.34	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,933.92	▲ 7.34	米国2年債	4.2624%	▲0.1020%
日経平均	27,686.40	▲ 199.47	米国5年債	3.6267%	▲0.1225%
TOPIX	1,948.31	▲ 1.91	米国10年債	3.4196%	▲0.1109%
シカゴ日経先物	27,580.00	▲ 80.00	独10年債	1.7810%	▲0.0130%
ロンドンFT	7,489.19	▲ 32.20	英10年債	3.0420%	▲0.0350%
DAX	14,261.19	▲ 82.00	豪10年債	3.3630%	▲0.0040%
ハンセン指数	18,814.82	▲ 626.36	USDJPY 1M Vol	13.82%	0.04%
上海総合	3,199.62	▲ 12.91	USDJPY 3M Vol	12.50%	0.07%
NY金	1,798.00	15.60	USDJPY 6M Vol	11.85%	0.14%
WTI	72.01	▲ 2.24	USDJPY 1M 25RR	▲1.15%	Yen Call Over
CRB指数	265.89	▲ 1.57	EURJPY 3M Vol	11.32%	▲0.06%
ドルインデックス	105.10	▲ 0.48	EURJPY 6M Vol	11.25%	▲0.04%

東京	東京時間のドル円は136.89レベルでオープン。仲値にかけての実需のドル買いと株式市場の下落を背景とした円買いが交錯し、しばらくは137円を挟んで方向感のない推移。その後特段材料は見当たらなかったものの、米金利の下支えもある中、じりじりと値を上げ一時137.79まで上昇し、137.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、137.77レベルでオープン。本日はドル安と円安が並行。ドル円も137.15まで売られ137.20レベルでNYに渡ったが、下落は限定的だった。ユーロドルは、1.0453レベルでオープン。ドル安の流れで終始堅調。1.0539まで買われ1.0537レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では円売りにドル円は137.85まで上昇するが、その後はドル売りが優勢となったことから上値を重くし、137.20レベルでNYオープン。朝方は米第3四半期単位人件費(確報値)が大きく下方修正され、予想も下回ったことからドル売りが更に強まり、136.40まで下落する。その後は136.85まで戻す局面もあったものの、米金利が更に低下する中ドル円の上値は重く、136.23まで下落する。午後は米2年債と10年債の逆イールドが85bpまで拡大し、リセッション懸念が強まる中、ドル円は安値圏での推移が続き、136.57レベルでクローズした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが強まったことや、ユーロ圏第3四半期GDP確報値が予想を上回ったこともあり、1.0539まで戻し、1.0537レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れが継続し1.0550まで上昇するが、ユーロ円が下落する展開を受け1.0488まで下落する。午後は1.0528まで戻す局面もあったが、ユーロ円が更に上値を切り下げ中、1.0502まで戻し、1.0505レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・西

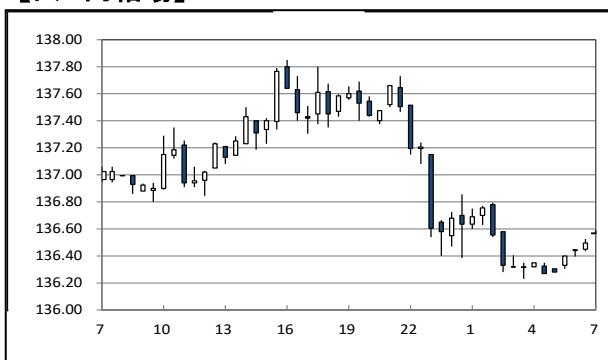
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月7日	12:05	中 貿易収支	11月 \$69.84b	\$78.05b
	12:05	中 輸出/輸入(前年比)	11月 -8.7%/-10.6%	-3.9%/-7.1%
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -0.1%/0.0%	-0.6%/-0.7%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q F 0.3%/2.3%	0.2%/2.1%
	22:30	米 単位人件費・確報	3Q F 2.4%	3.1%
12月8日	00:00	加 カナダ銀行翌日物貸出金利	7-Dec 4.25%	4.25%

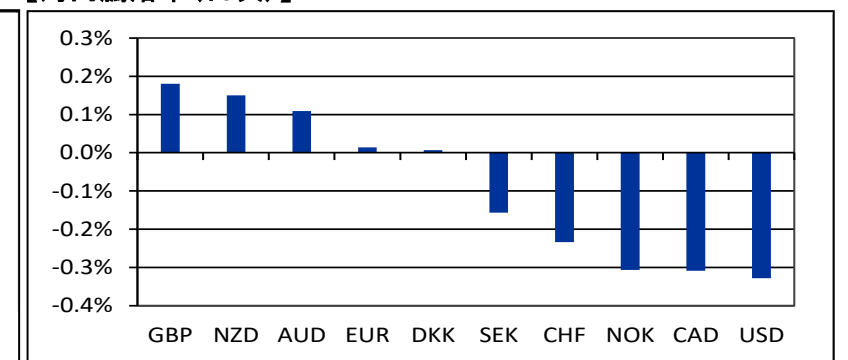
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q -0.3%	-0.3%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q -1.0%	-1.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	3Q -0.5%	-0.5%
	09:30	豪 貿易収支	10月 A\$12000m	A\$12444m
	22:30	米 新規失業保険申請件数	3-Dec 230k	225k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-137.00	1.0400-1.0550	142.50-144.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は海外時間で下落。東京時間のドル円は136.89レベルでオープン後、時間外米長期金利の上昇を背景にドル買い優勢のままじりじりと値を上げ、欧州時間で137.85まで上昇。NY時間に米第3四半期単位人件費(確報値)が大きく下方修正され、市場予想も下回った結果に市場はドル売りで反応し、ドル円は136円台へ下落した後も米長期金利低下を受け、上値重く推移し136.57レベルでクローズ。
本日のドル円は軟調推移を予想する。本日は米新規失業保険申請件数以外に特段目立った材料無く、米金利の動向にドル円の推移は左右されると想定され、昨日の米長期金利低下を背景としたドル売りが先行するだろう。米2年債利回りと米10年債利回りの逆イールドが85bpまで拡大したことも、米国のリセッション入りへの警戒感を高める要因であり、ドル円の下押し圧力は強まりやすいか。